

# 二松学舎大学文学部卒 竹吉優輔氏作『襲名犯』江戸川乱歩賞受賞記念鼎談

## 悩み考えることが人生の糧に — 竹吉氏



**竹吉優輔**

(たけよし ゆうすけ) 1980年茨城県生まれ。二松学舎大学文学部卒、東洋大学大学院文学研究科博士前期課程修了。図書館で司書として働くかたわら、小説執筆を続ける『襲名犯』にて第59回江戸川乱歩賞受賞。



**江藤茂博**

(えとう しげひろ) 1955年長崎生まれ。89年立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。2003年二松学舎大学文学部教授、2009年二松学舎大学文学部部長に就任。専門分野は文学、映像、メディア論。



**渡辺和則**

(わたなべ かずのり) 1951年岐阜生まれ。84年早稲田大学大学院経済学研究所博士課程単位取得満期退学。2000年千葉大学大学院社会学部文化科学研究科博士課程修了。博士(経済学)。1997年二松学舎大学国際政治経済学部教授、副学長を経て、2009年二松学舎大学学長に就任。専門分野は文化行動学。

**二松学舎大卒で初の乱歩賞受賞**  
江藤 このたびは江戸川乱歩賞受賞おめでとうございます。喜びの一言をお願ひします。  
竹吉 やっと発売になりました。本が書店に並んで、「どっきり」ではないのだと感じました。読者の方にやっと言葉が届けられる立場になれたことが本当に嬉しいです。  
渡辺 136年の長い歴史を持つ二松学舎大学では、国語力を持った学生の養成を目指しています。今回、竹吉さんが乱歩賞を受賞されたことで、その国語力を世の中にアピールしていただけたと思います。

私たちが大変喜んでおります。おめでとうございます。  
竹吉 ありがとうございます。  
江藤 二松学舎の卒業生には最近も太宰治賞や三田文学賞の受賞者や、卒業してからだけでなく在籍中にもライオンベルでいろいろな賞を受賞した人もいます。『江戸川乱歩賞』は初めてではないかと思えます。受賞されるまで大変な苦勞があったと思いますが、受賞作『襲名犯』についてお聞かせください。  
竹吉 『襲名犯』を取り扱っていませんが、私の念頭には不条理なことがありました。猟奇殺人という不条理の最たるものにあらうという意思を書き抜くことで、一番苦勞したのは、主人公をいかに立ち上げられるかがすごく悩みの種でした。書き進んでいくと登場人物が自然に動き、私の想像を遙かに超え、事件と向き合ってくれた。ある意味、産みの苦しみと同時に喜びを味わいました。構想自体は前からあったのですが、トリックを知りきるところがあって、登場人物が生まれてきて、がごとく原稿に詰めて、できあがるまでに1年半くらいかかりました。

江藤 作品を読ませていただき、全然ジャンルは違いますが、私が授業で使うこともある『下木物語』と同じ北関東のヤンキー文化のイメージをうまく背景に使われたという印象を持ちました。また、実際に図書館で働かれていますこと、そのリアルな感じはとて面白いです。設定されている家族関係は、一見、特殊な家族に見えながら、実は普通の親子関係の中にもあるような期待と、期待に応えられないコンプレックス、それらを誰にでもあのような心性と

うまくつなげていましたね。そこはもういなく感じました。ここにはなにがあるのだろうかと思ったのは、フーシャムとあるキーパーソンとの関係。余り丁寧に書かれていませんが、逆にそれが読者の想像力をかき立てる仕掛けなのかな。  
竹吉 後半にキーパーソンとフーシャムとの関係が明らかになりますが、この両者の間に交わされていた会話、あそこが会話にはある意味、誰でも思いつくことをキーパーソンが言っている、フーシャムが、はっとさせられる。フーシャムにとっては「気が付き、キーパーソンにとっては「当たり前のこと」。そして、更にある人物にとっては、また違った感情を抱かせる。言わば、三者三様。それ違いですね。  
江藤 なるほど。ところで「ミステリー」や「サスペンス」作品等に、いつ頃から興味を持たれたのですか。  
竹吉 小学校に入り、図書室に行くのが「少年探偵団」のシリーズなどが並んでいて、手に取って見る。それを読んで、頭の中に江戸川乱歩という人間の部屋ができたかのような感覚を覚えて、こいつは面白いと思いました。もっとこういうのはいないか、ということでも「ミステリー」を中心に読んでいましたね。  
江藤 いわゆる教科書的な純文学ではなくて、ミステリーがお好きだったので

魅力は人脈と絆・一体感  
渡辺 そういふ文学好きが二松学舎大学に入学された動機ですか。  
竹吉 そうですね。私は編入なのですが、二松学舎を調べて、「ここは何かいいな」という憧れを持って入りましたね。普通、編入したりするとなかなか友達がつりづらかったりするのですが、みんな「どー」と来てくれて、「編入なの？」「この大学から、みないな感じ」で、一体感みたいなものを味わいました。一体感があるということはこの大学の宝だと思います。  
私が就職したときに、すごくよくしてくれた二松学舎出身の先輩がいて、最初からすごく目をかけてくださいました。二松学舎という一つの人脈、あるいは絆、それは本当に大事なものだと思っています。それはこの大学特有のものだと思います。

江藤 文学部の学生の中には作家志望がたくさんいますよね。そういう人たちが競い合いながらグループを作り、個人的な同人誌を出していく、そんな環境が本学文学部の特徴になっているかもしれませんね。  
竹吉 私は自宅が茨城です。柏キャンパスにすぐ通えて嬉しかった。今は文学部も1年生から4年生まで九段なされていますね。  
渡辺 はい。九段キャンパスは都心ながら皇居が近いのが豊かです。明治10年に学祖三島中洲が「漢学塾二松学舎」を創立して以来今年で136年目を迎えますが、その間ずっと九段の地が学舎で

自ら考え、行動する 人材を育成  
二松学舎 建学の精神を再確認  
江藤 文学部の学生の中には作家志望がたくさんいますよね。そういう人たちが競い合いながらグループを作り、個人的な同人誌を出していく、そんな環境が本学文学部の特徴になっているかもしれませんね。  
竹吉 私は自宅が茨城です。柏キャンパスにすぐ通えて嬉しかった。今は文学部も1年生から4年生まで九段なされていますね。  
渡辺 はい。九段キャンパスは都心ながら皇居が近いのが豊かです。明治10年に学祖三島中洲が「漢学塾二松学舎」を創立して以来今年で136年目を迎えますが、その間ずっと九段の地が学舎で

竹吉 私、今、小説家と図書館司書という二足のワラジを履いており、人と接して感情を学び、書き続けたいと思っています。チャットラリンのように、「自信作は？」と聞かれたら、「次の一作だ」と言えるような創作活動を続けていきたいと決意を固めています。  
江藤 これからは本学に楽しみます。最後に、二松学舎の在学生を含めた若い世代へのメッセージをお願いします。  
竹吉 たくさん悩むことは時間の無駄のように思ってしまうときもありませんが、悩むことが後に糧になる時って絶対あると思います。特に学生の時って切迫感があることでも思っています。自分や友人や家族のことでもいいし、あるいは、世界平和のことでもいいし、人間はどう生きるかという哲学的なことでもいい。とにかく悩んで、考えて、答えは出なくてもいいと思います。それは後の大きな糧になると思いますので、悩むことを恐れずたくさん悩んでください。  
渡辺 まずは皆さんに読んでいただけたような作家になっていただきたい。私たちが心から応援しています。今後の活躍を大いに期待して終わりたいと思います。と、ついでにありがとうございます。

江藤 文学部の学生の中には作家志望がたくさんいますよね。そういう人たちが競い合いながらグループを作り、個人的な同人誌を出していく、そんな環境が本学文学部の特徴になっているかもしれませんね。  
竹吉 私は自宅が茨城です。柏キャンパスにすぐ通えて嬉しかった。今は文学部も1年生から4年生まで九段なされていますね。  
渡辺 はい。九段キャンパスは都心ながら皇居が近いのが豊かです。明治10年に学祖三島中洲が「漢学塾二松学舎」を創立して以来今年で136年目を迎えますが、その間ずっと九段の地が学舎で

江藤 文学部の学生の中には作家志望がたくさんいますよね。そういう人たちが競い合いながらグループを作り、個人的な同人誌を出していく、そんな環境が本学文学部の特徴になっているかもしれませんね。  
竹吉 私は自宅が茨城です。柏キャンパスにすぐ通えて嬉しかった。今は文学部も1年生から4年生まで九段なされていますね。  
渡辺 はい。九段キャンパスは都心ながら皇居が近いのが豊かです。明治10年に学祖三島中洲が「漢学塾二松学舎」を創立して以来今年で136年目を迎えますが、その間ずっと九段の地が学舎で

江藤 文学部の学生の中には作家志望がたくさんいますよね。そういう人たちが競い合いながらグループを作り、個人的な同人誌を出していく、そんな環境が本学文学部の特徴になっているかもしれませんね。  
竹吉 私は自宅が茨城です。柏キャンパスにすぐ通えて嬉しかった。今は文学部も1年生から4年生まで九段なされていますね。  
渡辺 はい。九段キャンパスは都心ながら皇居が近いのが豊かです。明治10年に学祖三島中洲が「漢学塾二松学舎」を創立して以来今年で136年目を迎えますが、その間ずっと九段の地が学舎で

江藤 文学部の学生の中には作家志望がたくさんいますよね。そういう人たちが競い合いながらグループを作り、個人的な同人誌を出していく、そんな環境が本学文学部の特徴になっているかもしれませんね。  
竹吉 私は自宅が茨城です。柏キャンパスにすぐ通えて嬉しかった。今は文学部も1年生から4年生まで九段なされていますね。  
渡辺 はい。九段キャンパスは都心ながら皇居が近いのが豊かです。明治10年に学祖三島中洲が「漢学塾二松学舎」を創立して以来今年で136年目を迎えますが、その間ずっと九段の地が学舎で

江藤 文学部の学生の中には作家志望がたくさんいますよね。そういう人たちが競い合いながらグループを作り、個人的な同人誌を出していく、そんな環境が本学文学部の特徴になっているかもしれませんね。  
竹吉 私は自宅が茨城です。柏キャンパスにすぐ通えて嬉しかった。今は文学部も1年生から4年生まで九段なされていますね。  
渡辺 はい。九段キャンパスは都心ながら皇居が近いのが豊かです。明治10年に学祖三島中洲が「漢学塾二松学舎」を創立して以来今年で136年目を迎えますが、その間ずっと九段の地が学舎で

**二松学舎大学**

明治10年、学祖三島中洲が東京・九段の私邸に漢学塾「二松学舎」を創設しました。以来、二松学舎大学は、建学の精神「東洋の精神による人格の陶冶」「己方修め人ヲ治め一世ニ有用ナル人物ヲ養成スル」のもと、夏目漱石、犬養毅、中江兆民、平塚らいてうほか、各界で活躍する数多くの人材を輩出して参りました。

平成24年10月には、二松学舎創立135周年を節目として、この建学の精神に基づく長期ビジョン「N' 2020 Plan」を公表しました。

教育機関としての社会的責任を引き続き果たすべく、このビジョンを基に、「日本人としての道徳心を備え、国際化、知識基盤社会化が進む中で、自分で考え、判断し、行動する、各分野で活躍できる人材」を養成してまいります。

文学部 国文学科/中国文学科  
(専攻) 国文学/映像・演劇・メディア/日本語学/日本文化  
中国文学/日本漢学/中国語/書道/韓国語/比較文学・文化  
(東アジアの文化と社会プログラム)

国際政治経済学部 国際政治経済学科  
(専攻) 国際政治/国際経済/法行政  
(英語特別プログラム)

大学院 大学院文学研究科/国際政治経済学研究所

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16  
TEL:03-3261-1292 (広報課)

**〈都心の九段で4年間〉**

二松学舎大学は、九段キャンパス教育環境の更なる充実のため、今年3月靖国通りに面した校地を新たに取得。この校地に建築する九段4号館(仮称)の建設計画の概要が決定致しました。平成26年12月に竣工の予定です。

地上9階建の新校舎には、大教室や中教室の他にラーニングcommonsや学生ラウンジ、開放的なテラスなどがつくりられ、本学が提供する教育サービスの新たな拠点となる事が期待されています。

明るく近代的なキャンパスが、九段の地にまた一つ誕生します。

**〈イベントのご案内〉**

◇『論語』の学校~RONGO ACADEMIA~(入場無料-先着順400名)  
『論語』そのもの分かり易い解説とともに、関連する論題や『論語』を生きた知恵として実社会に実践している方々のお話しを紹介します。今年で5回目を迎える人気イベントです。  
日時 平成25年11月9日(土) 13時~17時  
場所 二松学舎大学 九段1号館地下2階中洲記念講堂  
講演者 守屋 洋氏(中国文学者)  
演題 『論語』と中国古典  
※『論語』の学校 問い合わせ先TEL03-3261-1298(二松学舎大学企画・財務課)

◇企画展『論語—現代に生きる孔子と門人の言葉』  
二松学舎の創立者三島中洲を始め江戸時代以降の日本人や日本の社会がどのように『論語』を解釈し、受け入れてきたかがわかる資料を中心に展示します。  
期間 平成25年10月15日(火)~11月9日(土) ※日曜及び11月1日(金)~4日(月)は休館  
時間 9時15分~16時30分 ※入館は16時まで  
場所 二松学舎大学 柏キャンパス図書館

◇論語講演会(入場無料-先着順100名)  
日時 平成25年10月26日(土) 13時30分~15時  
場所 二松学舎大学 柏キャンパス1号館2階205教室  
講演者 本学文学部教授 牧角 悦子  
演題 『孔子』の教学が目ざしたもの  
※企画展及び論語講演会 問い合わせ先TEL04-7191-8758(二松学舎大学附属図書館)

■二松学舎大学の入試情報■ パンフレット・入試要項の請求(無料)はこちらから  
<http://www.nishogakusha-u.ac.jp/>  
入試に関するお問い合わせ 入試課TEL 03-3261-7423